

## いばら

編集発行  
井原地区社会福祉協議会

## 年頭の「あいさつ

井原地区社会福祉協議会

会長 末田 良陽



神の倉山からの雲海

新年あけまして オメでとうございます

皆様には、平素より社会福祉協議会の活動に対して、ご理解とご協力を賜り、深く感謝致しております。

昨年5月に新型コロナが第5類扱いとなり、3年間中断していた色々な行事やイベントが復活してきて、地域に活気が戻りつつあることは大変喜ばしいことと思っています。

井原社協においても、地域の関係団体の方々の協力のもとに、9月の「敬老祝賀会」を始め、1月の「ひとり暮らしの高齢者の集い」を開催することができ、多くの皆様に喜んでいただいて大変うれしく思っています。

今年度も伝統ある行事を継続しながら、新しい事業にも取り組んでいこうと思います。

## 社会福祉活動拠点の活性化事業の推進

広報誌いばら第49号でお知らせしたように、井原社協では令和6年度より「社協活動拠点の活性化事業の推進」に取り組むことになりました。安佐北区社協より100万円の補助金を受けて井原会館の2階の1室を整備し拠点となる事務所を開設しました。4月から取り組む事業の内容についてはこれから細かく検討していくつもりですが、大まかな内容については次のようなことを考えてています。

1. ようこそ困りごと相談窓口の開設

毎週月曜日と金曜日：午前十時～十二時

事務所に社協のスタッフが常駐し、電話による相談に応じる。

二・日常生活の支援  
ひとり暮らしで高齢者の方を対象に、日常生活をする上で困っておられるご支援です。

例）花の水やり、電球・蛍光灯の取替え、簡単な掃除、簡単な草取り、簡単な庭木の剪定、買い物の付き添い、薬の受け取りなど

この日常生活の支援については、社協のスタッフだけでは対応できないので、福祉委員さんやボランティアさんと協議して対応の仕方を検討していきたいと考えています。

## 三・高齢者の交流の場としての役割

ひとり暮らしの高齢者の方は、家から出られることも少なく、地域の人と交流される機会も少ないので、月に2回程度井原会館の1階で「茶話会」「百歳体操」「音楽会」「ゲーム・脳トレ」「習字・写経・塗り絵」などを通して、世間話をしながら交流してもらう。

以上のような内容について社協の総会で承認を得たら、詳しい内容を決めて、福祉委員さん・自治会長さんを通してお知らせしますので是非ご参加ください。

最後にあたり、井原のまちが明るくて楽しくて安心して暮らせるまちになることと、皆様のご健勝・ご多幸を祈念して新年のご挨拶いたします。

## 各団体の活動報告

### 《「つぐしの会」の忘年会》



ひとり暮らしの女性高齢者の会である「つぐしの会」は、1月11日（月）に、忘年会を開催しました。参加者は4名で、白木地域包括支援センターの指導により、健康体操。その後民生委員のリードで茶話会・合唱・ゲームなどをして楽しいひとときを過ごしました。



参加者は11名で、三次の平田観光農園にいき、「りんご狩り」。様々な種類のりんごを取り、その場で試食をして味比べをしました。市内で食事後、三次トレッタで、ショッピングと茶話会。秋の一日をのんびりしました。



ひとと、その地域ボランティアで構成する「えくぼの会」は、1月14日（火）に、もみじ狩りにいきました。



障害をかかえているひとと、その地域ボランティアで構成する「えくぼの会」は、1月14日（火）に、もみじ狩りにいきました。

### 《「えくぼの会」のもみじ狩り》

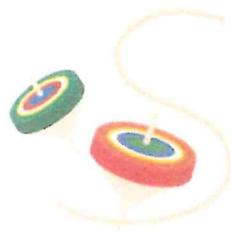
## 井原小学校での「昔遊びの会」に協賛

毎年、井原長寿会は、

井原小学校低学年を対象に、古くから伝わる遊び（お手玉・あやとり・コマ回し・紙飛行機・折り紙）を教え、遊びの伝承をおこなっています。社協もメンバーとして参加しあげています。

今年は、1月8日（金）に、井原小学校体育館で行われました。お手玉・あやとり・コマ回し・紙細工（折り紙・紙飛行機）と4つのコーナーを設け

て、1年生・2年生7名が、それぞれの興味ある場所をまわり、昔遊びを楽しみました。最後に、舞台から紙飛行機を飛ばして終了となりました。



**久し振りの敬老祝賀会です。(・・・4年振り)**

**《令和5年9月18日(月)》**



## 特集記事

### ◆広島型地域運営組織「ひろしまエルモ」とは?

現在、広島市は、市民主体のまちづくりを進めるべく、小学校区を活動範囲として、地域内の各種団体が連携して、様々な地域課題の解決に取り組む「新たな協力体制」を作ろうとしています。その「新たな協力体制」で市が認定した組織を「ひろしまLMO（エルモ）」と名付けています。

井原地区においては、1月20日（水）に市

のLMO担当者と安佐北

区長が井原に来られ、井原

地区コミュニティ連絡協議会の役員に、説明と応募の申請依頼がありました。

当社協としても、「新たな協力体制」のもとで、

主要な団体になることや、

助成金が、設立時や運営時にあり、LMOの活動を前

向きに考えていくないと

おもいます。社協役員会等で、しっかりと協議してコミュニティ連絡協議会に連携していく所存です。



## 社協事務局だより

### 「地域福祉功労者 表彰」（敬称省略）

長年、地域福祉活動に貢献された方が表彰されました。おめでとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。

（令和5年7月～1月）  
井原地区社会福祉協議会に対し、左記の方より多額のご寄付をいただきました。地域福祉に対するご協力とご理解に厚くお礼を申し上げ、ご報告いたします。

#### 【広島市社会福祉協議会会长表彰】

小川 民穂（評議委員）

#### 【安佐北区社会福祉協議会会长表彰】

市川 良子（評議委員）  
飯田 実（事務局長）

### ◆令和5年度の今後の行事予定（1月～3月）

・ひとり暮らしの高齢者の方の集い

1月23日（火）午前十時より

・いきいきサロン連絡交流会

2月中旬予定

・福祉研修会

3月中旬予定

\*具体的日程決り次第、関係者に連絡いたします。

### ◆社会福祉活動拠点の活性化事業助成金に伴うボランティアスタッフの募集について

見出しの件について、4月スタートに合せて幅広く募集いたします。

連絡先 事務局 飯田 TEL 828-12473

### 編集後記

新しい年を、迎えた途端に、国内で大きな災害と事故が発生しました。能登半島地震と日航機・海保機の衝突炎上事故です。井原から離れた地での出来事といえ、災害・災難はいつでも、どの場所でも起きると実感し、住民同士による『共助』の重要性はやはり大きいと思いました。

災害・災難時にお互いに助け合う気持ち。「向こう3軒両隣」の付き合いは、孤独・孤立が顕在化する今だからこそ必要です。多くのひとと協力して「袖触れ合う付き合い」を進めましょう。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

福祉の灯